

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	苛性ソーダ（液体）
会社名	要薬品株式会社
住所	〒550-0003 大阪市西区京町堀3-2-7
担当部門	営業部
電話番号	06-6445-0444
FAX番号	06-6445-0458
緊急連絡先	同上
整理番号	K-021

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	爆発物	分類対象外
	可燃性又は引火性ガス （化学的に不安定なガスを含む）	分類対象外
	エアゾール	分類対象外
	支燃性又は酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	区分外
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	区分外
	自然発火性固体	分類対象外
	自己発熱性化学品	区分外
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	区分外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	分類できない
	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（ガス）	分類できない
	急性毒性（蒸気）	分類できない
	急性毒性（粉じん及びミスト）	分類できない
	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分1
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分1
	呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分外	

	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分2（呼吸器系）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分外
	水生環境有害性（長期間）	区分外
	オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷

重篤な眼の損傷

臓器（呼吸器系）の障害のおそれ

注意書き

【安全対策】

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

取扱後はよく手を洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

【応急処置】

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名

水酸化ナトリウム（水溶液）

別名

苛性ソーダ

濃度又は濃度範囲

5% 未満

化学式又は構造式	NaOH
官報公示整理番号	化審法・安衛法：(1) - 410
CAS番号	1310-73-2

4. 応急措置

吸入した場合	患者を空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にし、呼吸し易い姿勢で休息させる。気分が悪い場合は、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	汚染された衣服や靴を脱がせて、付着又は接触部を流水で洗う。速やかに医師の診断を受ける。
眼に入った場合	直ちに多量の水で瞼の隅々まで15分間以上洗浄し、速やかに医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	口をすすぐ。無理に吐かせない。速やかに医師の診断を受ける。
応急処置をする者の保護	汚染された衣類や保護具は取り除く。救助者はゴム手袋や密閉ゴーグル等の保護具を着用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	本製品自体は不燃性、周辺火災には適切な消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	データなし
特有の危険有害性	溶液は腐食性があるので、保護具を着用する。
特有の消火方法	本製品自体は不燃性であるが、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には容器及び周囲に散水して冷却する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時処置	作業の際は適切な保護具を着用し、漏洩した液が皮膚に付着したり、蒸気を吸入しないようにする。風下にいる人を退避させ、風上から作業する。漏出した場所の周囲にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
環境に対する注意事項	流出した製品の河川、排水路、下水溝等への流入を防止し、環境へ影響を起ささないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境に流出しないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法 及び機材	漏洩した液は珪藻土などに吸着させて、空容器に回収する。漏洩した場所は希酸を散布して中和した後、水で十分に洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	眼や皮膚への接触を避ける。アルカリ性物質なので、酸性物質との接触を避ける。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
局所排気・全体換気 安全取扱注意事項	取扱う場所は、局所排気内、又は全体換気の設備のある場所で取扱う。ヒュームが発生しないように取扱う。屋外で取扱う場合は、出来るだけ風上から作業する。着衣、皮膚、粘膜に触れたり、眼に入らない様に、又、発散した蒸気・ミストを吸い込まない様に適切な保護具を着用する。漏れ、溢れ、飛散等しないようにする。

保管

技術的対策	容器は密閉して冷暗所に保管する。
保管条件	酸性物質との接触を避ける。
容器包装材料	ガラス、フッ素樹脂、ポリエチレン

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	取扱い場所の近くに洗身シャワー、手洗い、洗眼設備等を設ける。高熱工程でヒューム、ミスト等が発生する時は、換気装置を設置する。
管理濃度	未設定
許容濃度	ACGIH TLV-STEL (2013) 2 mg/m ³ 日本産業衛生学会 (2009) (最大許容濃度) 2 mg/m ³
保護具	
呼吸器の保護具	保護マスク
手の保護具	保護手袋
眼の保護具	ゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護衣、保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

外観	無色の液体
臭い	無臭
pH	1.3
融点・凝固点	データなし
沸点、初留点 及び沸点範囲	データなし
引火点	燃焼性なし
燃焼又は爆発範囲 の上限・下限	爆発性なし (不燃性)
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重 (相対密度)	1.06 (20℃)
溶解度	水：自由に混和、エタノール：可溶
n-オクタノール／水分配係数	データなし
自然発火分解温度	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	通常では安定している。空気中の二酸化炭素を吸収する。
危険有害反応可能性	酸と接触すると反応して、発熱する。アルミニウム、錫、亜鉛、クロム等の金属と反応して、可燃性の水素ガスを発生し、これが空気と混合して引火爆発することがある。
避けるべき条件	日光、熱
混触危険物質	アルミニウム、錫、亜鉛、クロム金属
危険有害な分解生成物	データなし

11. 有害性情報

製品の有害性情報 本製品の有害性情報データなし

成分の有害性情報

【 水酸化ナトリウム 】

急性毒性	経 口：データなし 経 皮：データなし 吸 入：データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	皮膚に対して0.5%以上で刺激性あるいは腐食性を示す
眼に対する 重篤な損傷性又は眼刺激性	ヒ ト：眼に入ると、結膜や角膜が腐食され、視力低下や失明する ことがある
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	ヒ ト：皮膚での感作性試験で皮膚感作性は認められない
生殖細胞変異原性	<i>In vivo</i> マウス骨髄小核試験：陰性 <i>In vitro</i> 変異原性試験のエームズ試験：陰性
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	ヒ ト：ミストを吸収すると気道、粘膜が侵される。気道を刺激し肺 水腫を引き起こすとの報告あり
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし

12. 環境影響情報

製品の有害性情報 本製品の有害性情報データなし

成分の有害性情報

【 水酸化ナトリウム 】

生態毒性	水生生物に有害な影響を与える可能性あり
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	非該当

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 廃棄処理する場合は、水を加えて希薄な溶液とし、希酸で中和した後、
多量の水で希釈して処理する。都道府県知事等の許可を受けた産業廃
棄物処理業者に処理を委託する。

汚染容器及び包装 容器は十分な水で洗浄してからリサイクルするか、関連法規並びに地
方自治体の規準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する時は、
内容物を完全に除去する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類	クラス 8 (腐食性物質)
品名	SODIUM HYDROXIDE SOLUTION
国連番号	1 8 2 4

容器等級	II
海洋汚染物質	非該当
国内規制	
船舶安全法	危険物・腐食性物質（危規則第3条 危険物告示別表第1）
航空法	腐食性物質（施行規則第194条 危険告示別表第1）
道路法	車両の通行の制限（施行令第19条の13）
運送の特定の 安全対策及び条件	輸送前に容器の破損、腐食等がないことを確認する。運搬する場合には、直射日光を避け、容器に漏れないことを確かめる。食品や飼料と、また酸類と混載して輸送してはならない。輸送前に容器の破損、腐食等がないことを確認する。車両、船舶には保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具等を備えておく。移送時にイエローカードの保持が必要である。
緊急時応急措置指針（容器イエローカード）番号：154	

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法	： 該当しない
労働安全衛生法	： 通知対象物（第57条の2、施行令第18条の2別表第9） 腐食性物質（規則第326条）
労働基準法	： 疾病化学物質（第75条第2項、施行規則第35条別表1）
海洋汚染防止法	： 有害液体物質（Y類）（施行令別表第1）
水質汚濁防止法	： 指定物質（法第2条第4項、施行令第3条の3）
航空法	： 腐食性物質（施行規則第194条危険物告示別表第1）
船舶安全法	： 腐食性物質（危規則第3条危険物告示別表第1）
港則法	： 危険物告示・腐食性物質（第21条の2、規則第12条）
化学物質管理促進法 （P R T R法）	： 指定化学物質に該当しない

16. その他の情報

引用文献	化学物質の危険・有害物便覧、厚生労働省安全衛生部監修 （中央労働災害防止協会、2000-2001） 毒劇物基準関係通知集改訂増補版、毒物劇物関係法令研究会監修 （薬務公報社、2000） 15710の化学商品（化学工業日報社、2010） 危険物ハンドブック（ギョウター・ホルム編、1991） A C G I H（2013） 日本産業衛生学会（2013）
------	--

本安全データシート（SDS）記載内容は、現時点で入手できる最新の資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがありますので、含有量、物理的・化学的性質、危険・有害性などに関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、SDS中の注意事項は通常の手配を対象にしたものですので、特殊な手配の場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。